

平成 28 年 12 月 15 日

平成 28 年第 4 回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党幹事長 高木 けい

三笠宮崇仁親王殿下におかれましては、去る 10 月 27 日に薨去されました。誠に哀悼痛惜の念に堪えません。ここに、改めて崇仁親王殿下のご冥福をお祈り申し上げ、東京都議会自由民主党として深甚なる弔意を表します。

第 4 回定例会は、知事提案の全議案を議決し、議員提出議案 2 件を否決して、本日終了いたしました。なお、知事提案の都立文化施設の指定管理者の指定に関する議案については、運営の継続性、専門性や人材の育成・確保の重要性など、施設の特性に十分留意するよう、我が党が提案した附帯決議が採択されました。

本定例会では、来年度の予算編成へ向けて、知事の基本姿勢や政策方針等について、「都民の与党」としての立場から、精力的に質疑を行いました。

まず、本会議で、事前の答弁調整を行わなかったことの経緯について述べます。

我が党は、地方自治のルールの下で、本会議や委員会での質問を通じ、都政を質すとともに、議会の権能である行政の監視、建設的な批判、修正、対案の提案をすることで、都政を円滑に前に進め、都民福祉の向上に最大限取り組んでまいりました。これは、知事が誰であろうと変わることはない、議会人の信念です。

であればこそ、知事就任後初となる第 3 回定例会において、我が党は必要な質問通告をし、これまでの慣例に従った答弁調整を申し入れました。しかし、小池知事からは、都議会と知事、職員の馴れ合いをやめたい、日本的な根回しを廃止したいという表明があり、拒否をされました。そして同様に、今定例会でもルールに従って必要な質問通告は行いましたが、答弁調整はできませんでした。

その結果、代表質問での知事答弁は、28 問中 19 問が答弁漏れという、極めて不十分な内容でありました。我が党の再質問に対し、知事は理事者側が用意した原稿を読み上げましたが、知事がバツハ会長に渡した文書については公文書であることを認め、訂正せざるを得ませんでした。

知事が言う「東京大改革」とは、このように議会を形骸化させることだったのでしょか、甚だ疑問を感じるものです。

次に、市場移転問題についてです。

都議会では、豊洲市場移転問題特別委員会で実質的な審議に入りました。専門家会議、市場問題プロジェクトチームでの質疑も通じ、建屋の構造の安全性や、土壌汚染対策法に基づく措置は適切に講じられており、関係法令に副った「安全性」が確保されていることが、改めて検証されました。

従って、今後は、都民の「安心」をどう届けていくのか、市場業者の早期の保証をどう実施するかなど、様々な取組を進め、信頼回復が図られるよう強く求めました。

次に、オリンピック施設の見直しについてです。

知事が主催する都政改革本部の調査チームが出した報告書によれば、大会総経費が3兆円を超える可能性があると言及しましたが、現時点で公表されている個別経費を積み上げても、大会総経費は約2兆円にしかありません。調査チームの出した3兆円の数字は、明らかにミスリードであり、削減額を大きく見せるための誇大宣伝と言わざるを得ません。このため、我が党は、2020年東京大会の経費削減に向けた緊急提言をまとめ、知事に提言しました。

いま、必要なのは、責任ある関係者が同じテーブルに着き、知恵を出し合い、経費削減や山積する課題に向け、対応策をとりまとめることでもあります。

とりわけ、都・組織委員会・国の三者協議を早急に開催し、大会総経費の削減、役割分担と費用負担の見直しなど、具体的協議に着手するべきです。知事には、責任ある行動とチームプレーに徹していただくことを強く要望しました。

次に、無電柱化の推進です。

我が党は、かねてより東京から電柱をなくすことを政策集に掲げ、機会あるたびに無電柱化の更なる推進を求めてきました。知事は所信表明で無電柱化を推進する条例案を検討すると発言されましたが、これは、我が党の政策と軌を一にするものであり、今後、無電柱化推進計画における整備目標を上方修正するとともに、区市町村や民間電線管理者への支援など、取組を拡充していくことを求めました。

その他、待機児童対策、高齢者介護問題、震災対策など、現下の都政に停滞は一切許されません。今必要なのは、いたずらに都民の不安を煽るような風潮に楔を打ち、執行機関と議会が切磋琢磨しながら政策協議を続け、パフォーマンスではなく、地に足の着いた政策を着実に推進することです。

我々東京都議会自由民主党は、着実かつ確実にこれらの解決に取り組む、二元代表制のもとで建設的な議論をなし、都政に責任を持ち、さらに前進させていくとともに、議会の権能である「行政の監視、建設的な批判、修正・対案の提案」にも、「都民の与党」として、精力的に活動をしていくことをお約束申し上げます。